

## 八戸市議会 第5回議会報告会記録

### 1. 開催日時・開催場所・参加者数

- (1) 開催日時 平成29年5月21日(日) 14時00分開会(15時20分閉会)
- (2) 開催場所 八戸市総合福祉会館「多目的ホール」
- (3) 参加者数 18名

### 2. 出席議員

議会・各委員会選出議員 (11名)

	職名	氏名
八戸市議会	議長	立花敬之
議会運営委員会	副委員長	三浦博司
総務常任委員会・議会改革推進委員会	委員	藤川優里
経済常任委員会	委員	前澤時廣
民生常任委員会	委員	豊田美好
建設常任委員会	副委員長	高山元延
中核市・広域連携推進特別委員会	委員	夏坂 修
観光振興特別委員会	副委員長	寺地則行
港湾・都市基盤整備推進特別委員会	委員	古舘傳之助
屋内スケート場・スポーツ文化施設建設特別委員会	副委員長	森園秀一
予算特別委員会	委員長	小屋敷孝
任意参加議員 (15名)	久保百恵、岡田 英、日當正男、中村益則、苫米地あつ子 田端文明、冷水 保、高橋一馬、工藤悠平、伊藤圓子 山名文世、田名部和義、八嶋 隆、秋山恭寛、大館恒夫	

計 26 名

### 3. 役割

役 割		担当人数	担 当 者
会 議 運 営	あいさつ	1名	立花敬之
	司会進行	1名	工藤悠平
	議会報告説明	3名	①市議会の概要 三浦博司、藤川優里 ②3月定例会審議概要 小屋敷孝
	意見交換	11名	立花敬之、三浦博司、藤川優里、前澤時廣 豊田美好、高山元延、夏坂 修、寺地則行 古舘傳之助、森園秀一、小屋敷孝
受 付	3名	秋山恭寛、大館恒夫、久保百恵	
マイク渡し	2名	岡田 英、日當正男	
アンケート回収	4名	八嶋 隆、田名部和義、山名文世、伊藤圓子	
録音・報告書作成	2名	高山元延、森園秀一	
資料作成	5名	豊田美好、古舘傳之助、三浦博司、藤川優里 小屋敷孝	
取材対応	1名	立花敬之	
ポスター・チラシの配布	全 員		
会場準備・後片付け			

### 4. 議会報告会進行内容

- (1) 開会
- (2) 議長あいさつ
- (3) 出席議員紹介
- (4) 議会報告
  - ① 八戸市議会の概要
  - ② 3月定例会審議概要
- (5) 意見交換
  - テーマ：連携中枢都市圏について、(仮称)三日町にぎわい拠点「マチニワ」について
- (6) 閉会

## 5. 主な質疑

No	参加者からの質疑	議会からの回答
1	<p>○連携中枢都市圏について</p> <p>安全・安心なまちづくりの推進の情報発信事業について。</p> <p>内閣府が作成した「武力攻撃やテロなどから身を守るために」というパンフレットの入手について市に問い合わせたが、分からないということだった。ここにいる議員でそのパンフレットの存在及び入手先をご存知の方は、挙手していただきたい。</p> <p>(是川地区・男性)</p>	<p>(議員の挙手なし)</p> <p>行政に伝えられることもあるかと思うので、承る。</p>
2	<p>○連携中枢都市圏について</p> <p>虐待を取り扱う機関である児童相談所への市としての関わり強化について。</p> <p>児童相談所の制度なり構造の問題で救われない子どもたちがいるのであれば、そこに中核市となった八戸市がどのように関わるのか、具体案があれば聞きたい。</p> <p>(是川地区・男性)</p>	<p>連携中枢都市圏の取り組み事業のなかでは、今、虐待については具体的に挙がっていないが、取り上げなければならない問題であり、町村と話し合いをしなければならぬと思っている。</p> <p>また、近年の家族形態の変容により、子どもの育て方に悩む若い夫婦が増えており、さらには相談先も分からず悩んでいるという現実がある。市のどの部署に相談したらいいのか悩んでいる市民とをつなぐ役割も市議として大事だと感じている。</p>

## 6. 主な意見・要望

No	参加者からの意見・要望	議会からの回答
1	<p>○バス乗り場について</p> <p>冬場、日が当たらず凍っているバス乗り場が近所にあり、お年寄りの方など転びそうで危ないため、雪が多いときなどは、市で除雪していただきたい。</p> <p>(小中野地区・男性)</p>	<p>バス利用者の立場に立ったご意見ということで承る。</p>
2	<p>○連携中枢都市圏について</p> <p>①連携中枢都市圏にとっても期待しているが、分かりやすく市民向けに説明していただきたい。</p> <p>(根城地区・男性)</p> <p>②八戸には公立大学がないので、ぜひこの連携中枢都市圏で公立大学をつくってほしい。(小中野地区・男性)</p> <p>③八戸線について、学生を無料化したり、長苗代やラピアのあたりなどに駅をつくって市で運営する形でやれば駅前のようなところは発展の可能性も出てくる。今後、コンパクトシティのような形で、100年、200年先を見据え、青い森鉄道と連携してうまくできないものかと思う。</p> <p>(小中野地区・男性)</p>	<p>①最大の目的は、少しでも人口減少に歯止めをかけること。そのために八戸市が中心となり、周りの7町村と連携しながら、八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンに掲載している64の連携事業を、国の経済的な支援を受けながら実施していこうというものである。</p> <p>②要望として承る。</p> <p>③多岐にわたる分野について、貴重なご意見と受け止める。連携中枢都市圏の事業として収まりきらない部分もあるが、要望として承る。</p>

No	参加者からの意見・要望	議会からの回答
3	<p>○マチニワについて</p> <p>①マチニワに大画面のパネルを設置するなどして、各地区でそれぞれ地道に活動しているイベントをお知らせするなど、中心街の人だけでなく、各地区の人たちのための取り組みをお願いしたい。 (小中野地区・男性)</p> <p>②中心街再生はかなり進んできているが、十三日町では第一ワシントンホテルの耐震化の問題があり、その周辺も半分閉店街というような様相を呈している。三社大祭のときに特別な観覧席を設置するところでもあり、一事業者の問題でなく、公共の問題として議会の方々も関心を持ってほしい。(根城地区・男性)</p>	<p>①中心街というと、中心にいる人たちのためだと思いがちだが、決してそうではなく、市民にとってどう生かされるか公的に考えるべき。自分たちが活動の場としてどう利用しようか、皆さんでワクワク感を持って考えていければ、建物も生かされると思う。また、連携中枢都市圏もあるので広域的に八戸市民全体で自分たちの場所として使えるように考えればよいのではないかと思う。</p> <p>マチニワの計画コンセプトの3番目に「小路、ヒト、情報が交わる空間として地域コミュニティの再生に寄与する拠点の創出」とあり、各地区の人たちのための取り組みは十二分に可能と考えている。</p> <p>②マチニワの事業、中心街全体への波及効果も重要と思う。中心街のまちづくりについての意見、要望として承る。</p>

7. アンケート結果 別添資料のとおり